様式第12号（第66条の３、第67条関係）（表面）

（免許・免許証再交付 免許証書替・免許更新）申請書

写真欄（24mm×30mm）

写真は、申請前６月以内に撮影した上三分身、正面、脱帽のものとし、写真の裏面に氏名を記入し、写真欄のシールを取り、貼り付けること。

帳票種別	①申請の区分	②新規に申請する免許の種類
8 4 0 0 1	1.新規交付 2.再交付 3.書替 4.更新 □（数字）	□□ ・新規に免許を申請する者のみ記入すること。 裏面備考８を参照。

フリガナ	（姓）	（名）
申請者氏名		
生年月日	明・大・昭・平・令　年　月　日生	
フリガナ		
住所	〒（　－　）	電話（　）
勤務先等連絡先		勤務先等連絡先の所在地　〒（　－　）　電話（　）

③氏名（姓をカタカナで記入すること。）　④氏名（名をカタカナで記入すること。）

⑤郵便番号　□□□－□□□□

⑥生年月日　1.明 3.大 5.昭 7.平 9.令（数字）　年（1～9年は右）　月（1～9月は右）　日（1～9日は右）

⑦-1 旧姓を使用した氏名又は通称の併記の希望の有無　0.無 2.有（数字）　裏面備考９を参照。

⑧住所地　□□　裏面備考10を参照。

⑨送付先希望　0.住所と同じ 1.住所と異なる（数字）　裏面備考11を参照。

⑦-２ 併記を希望する氏名又は通称

フリガナ	
送付先（裏面備考12を参照。）	〒（　－　）　電話（　）

㋑ 新規交付申請（試験合格による申請）	⑩試験を受けた地域の番号　1.北海道 2.東北 3.関東 4.中部 5.近畿 6.中国・四国 7.九州（数字）	⑪試験年月日　7.平 9.令（数字）　年（1～9年は右）　月（1～9月は右）　日（1～9日は右）	⑫受験番号（右につめて記入すること。）
㋺ 新規交付申請（試験免除による申請）	資格内容（　）	⑬資格取得年月日　1.明 3.大 5.昭 7.平 9.令（数字）　年（1～9年は右）　月（1～9月は右）　日（1～9日は右）	⑭資格コード ※
㋩ 再交付申請	再交付の理由		⑮再交付理由コード ※
㋥ 書替申請	フリガナ 変更前の氏名		⑯書替理由コード ※
㋭ 更新申請	申請免許有効期限　令和　年　月　日まで	⑰ボイラー溶接士免許有効期限　9.令（数字）　※　年　月　日	⑱更新不可コード ※

・新様式免許証（昭和63年10月1日以降に交付した免許証をいう。）を取得している者は、その免許証の番号を記入すること。

⑲免許証の番号

・㋩、㋥又は㋭の申請が、旧様式免許証（昭和63年10月1日前に交付した免許証をいう。）である場合は、次の事項を記入すること。

⑳前年度コード ※

㉑別人物コード ※

㉒免許の種類　□□　裏面備考８を参照。

㉓交付局　□□　裏面備考10を参照。

㉔免許証の番号（右につめて記入すること。）

㉕交付年月日　昭和　年（1～9年は右）　月（1～9月は右）　日（1～9日は右）

㉖他の旧様式免許証の有無　1.有（数字）　裏面備考13を参照。

㉗氏名イメージ　※

クレーン	移クレーン	デリック	揚貨装置	（玉掛）	特ボイラー	一ボイラー	二ボイラー	特ボイラ溶	普ボイラ溶	ボイラ整備	特一圧作業	ガス溶接	林業架線	発破技士	導火線発破	電気発破	衛生管理	衛生工学	高圧室内	潜水士	エックス線	ガンマ線

（受付印）

労働局長殿

令和　年　月　日

折り曲げる場合は（◀）の所を谷に曲げること。

※印の欄は記入しないこと。（職員が記入）

【 備考 】

1　□□□で表示された枠（以下「記入枠」という。）に記入する文字は、光学的読取装置（ＯＣＲ）で直接読み取りを行うので、この用紙は汚したり、穴をあけたり、必要以上に折り曲げたり、のり付けしたりしないこと。

2　記載すべき事項のない欄又は記入枠は、空欄のままとし、事項を選択する場合には該当事項を○で囲むこと。

3　記入枠の部分は、必ず黒のボールペンを使用し、枠からはみ出さないように大きめのカタカナ及びアラビア数字で明瞭に記載すること。

なお、濁点及び半濁点は同一の記入枠に「ガ」「パ」等と記入すること。

4　免許申請の場合は、「申請者氏名」、「生年月日」及び「住所」の欄に記入した事実を証する書面（以下「本人確認証明書」という。）並びに免許を受ける資格を有することを証する書面を添付すること。

5　免許証再交付申請の場合は、滅失によるものにあつては本人確認証明書、損傷によるものにあつては従前の免許証を添付すること。

6　免許証書替申請の場合は、従前の免許証及び記載事項の異同を証する書面を添付すること。

7　免許証更新申請の場合は、従前の免許証及び免許の有効期限の更新を受ける資格を有することを証する書面を添付すること。

8　下記の免許種類コード表を参照して記入すること。

9　旧姓を使用した氏名又は通称（以下「旧姓等」という。）の併記を希望しない場合は「０」、希望する場合には「２」を記入し、「併記を希望する氏名又は通称」欄に、希望する旧姓等を記入すること。

10　下記の住所地・交付局コード一覧を参照して記入すること。

11　住所と免許証の送付先が同じ場合は「０」、異なる場合は「１」を記入し、送付先欄に送付先を記入すること。

12　免許証の送付先が住所と異なる場合に記入すること。また、⑨送付先希望欄に「１」が記入されていることを確認すること。

13　当該免許申請の外に旧様式免許証を所持する者は、「１」を記入し、下記の免許種類コード表を参照して、㉖の下の該当する免許欄を○で囲み、所持免許申告欄（別紙）に記入すること。

収入印紙欄　（収入印紙は、申請者において消印しないこと。）

収入印紙は、所定事項を全て記入した後に貼り付けること。

収入印紙は、所定事項を全て記入した後に貼り付けること。

（住所地・交付局コード一覧）

北海道…01	栃　木…09	石　川…17	滋　賀…25	岡　山…33	佐　賀…41
青　森…02	群　馬…10	福　井…18	京　都…26	広　島…34	長　崎…42
岩　手…03	埼　玉…11	山　梨…19	大　阪…27	山　口…35	熊　本…43
宮　城…04	千　葉…12	長　野…20	兵　庫…28	徳　島…36	大　分…44
秋　田…05	東　京…13	岐　阜…21	奈　良…29	香　川…37	宮　崎…45
山　形…06	神奈川…14	静　岡…22	和歌山…30	愛　媛…38	鹿児島…46
福　島…07	新　潟…15	愛　知…23	鳥　取…31	高　知…39	沖　縄…47
茨　城…08	富　山…16	三　重…24	島　根…32	福　岡…40	

（免許種類コード表）

コード	免許の種類	コード	免許の種類	コード	免許の種類
10	特級ボイラー技士	21	揚貨装置運転士	31	林業架線作業主任者（林業架線技士）
11	一級ボイラー技士	22	デリック運転士	32	導火線発破技士
12	二級ボイラー技士	23	移動式クレーン運転士	33	電気発破技士
13	特別ボイラー溶接士	24	クレーン・デリック運転士〔床上運転式限定〕（注３）	34	発破技士
14	普通ボイラー溶接士			50	第一種衛生管理者（衛生管理者）
15	ボイラー整備士		クレーン運転士〔床上運転式限定〕（注４）	51	衛生工学衛生管理者
16	特定第一種圧力容器取扱作業主任者			52	第二種衛生管理者
20	クレーン・デリック運転士〔クレーン限定〕（注１）	25	クレーン・デリック運転士〔無限定〕（注５）	60	高圧室内作業主任者（高圧室管理者）
				61	潜水士
	クレーン運転士〔無限定〕（注２）	30	ガス溶接作業主任者（溶接士）（アセチレン溶接主任者）	70	エックス線作業主任者
				71	ガンマ線透過写真撮影作業主任者

注１　取り扱うことのできる機械の種類をクレーンに限定し、かつ、クレーンの種類を限定しないクレーン・デリック運転士免許をいうこと。

注２　取り扱うことのできるクレーンの種類を限定しないクレーン運転士免許をいうこと。（平成18年３月31日以前）

注３　取り扱うことのできる機械の種類を床上運転式クレーンに限定したクレーン・デリック運転士免許をいうこと。

注４　取り扱うことのできるクレーンの種類を床上運転式クレーンに限定したクレーン運転士免許をいうこと。（平成18年３月31日以前）

注５　取り扱うことのできる機械の種類を限定しないクレーン・デリック運転士免許をいうこと。